

2023年度北海道大学情報基盤センター萌芽型共同研究成果報告書

1. 研究類型 B) 研究集会開催支援型
2. 研究課題名 先端ネットワーク技術に関する研究集会支援
3. 研究期間 令和5年5月22日 ~ 令和6年3月31日
4. 研究代表者

氏名	所属機関・部局名	職名	備考
山岡 克式	東京工業大学 工学院情報通信系	教授	

5. 研究分担者

氏名	所属機関・部局名	職名	備考
南 弘征	北海道大学 情報基盤センター	教授	
馬場 健一	工学院大学 情報学部 情報通信工学科	教授	
北口 善明	東京工業大学・学術国際情報センター	准教授	
大坪 正樹	東京工業大学・工学院情報通信系	修士課程1年	
在間 哲平	東京工業大学・工学院情報通信系	修士課程1年	
和氣 智慶	東京工業大学・工学院情報通信系	修士課程1年	

6. 共同研究の成果

最先端の情報通信ネットワークやサイバーセキュリティに関する様々な研究課題に取り組む研究者たちによる、現在遂行中の先端技術に関する研究報告およびそれらに対する議論討論を目的として、第8回先端ネットワーク技術に関するワークショップを、北海道大学情報基盤センター主催で以下のとおり実施した。

<開催概要>

第8回先端ネットワーク技術に関するワークショップ

会場:

北海道大学 情報基盤センター 会議室

日時:

令和5年10月12日 13:30-18:00

参加者:

北海道大学情報基盤センター

南 弘征 教授

飯田 勝吉 准教授

東京工業大学 工学院情報通信系

山岡 克式 教授

工学院大学 情報学部情報通信工学科
馬場 健一 教授

東京工業大学 学術国際情報センター
北口 善明 准教授

東京工業大学 工学院情報通信系
大坪 正樹 修士課程学生
在間 哲平 修士課程学生
和氣 智慶 修士課程学生

国立情報学研究所 情報社会相関研究系
岡田 仁志 准教授

発表プログラム:

セッション 1

在間 哲平 (東京工業大学)
MECにおけるマルチジョブ棄却率最適制御方式に対する待機キューの検討

セッション 2

大坪正樹 (東京工業大学)
受信者代弁型情報伝送プロトコルにおける多重化特性

セッション 3

和氣 智慶 (東京工業大学)
可変ペイロードサイズ VoIP トラヒックモデルに対する精度向上手法

セッション 4: 招待講演

岡田 仁志 (国立情報学研究所)
DAO の構造特性にみる分散と集中の揺動

総合討論

今回のワークショップでは、本申請の代表者山岡および研究分担者工学院大学馬場健一教授を始めとした 9 名により実施された。

また、セッション終了後の総合討論では、現在の情報通信ネットワーク技術が抱える問題および今後の技術的展望に関し、各参加者による活発な議論が行われた。特に、国立情報学研究所岡田氏による招待講演が指摘した DAO の構造特性の変遷は、情報通信ネットワークの運営論・組織論にも大いに通じるところがあり、発表者はもとより参加者全員が、各々の専門分野にとらわれず幅広く知識を習得するに至り、参加者の今後の更なる研究発展に非常に有用となるものであった。

<本研究に関連する対外成果発表>

- 成清壮太, 宮田純子, 馬場健一, 山岡克式, ” 待ちを考慮した緊急時三元呼受付制御の特性解析”, 電子情報通信学会技術報告, SITE2023-103, IA2023-109, pp.219-226 (2024 年 3 月)
- 大坪正樹, 北口善明, 山岡克式, ” 送信内容の異なる受信者代弁型情報伝送プロトコルにおける多重化後スループットの検討”, 電子情報通信学会技術報告, CS2023-45, pp.91-96 (2023 年 7

月)

<その他の成果>

2023 年度科学研究費採択

研究種目：基盤研究(B) 一般

研究課題名：集約的データ解析法による不正アクセス履歴の分析とサイバー攻撃予測への応用

研究代表者：南 弘征（北海道大学 情報基盤センター）

研究分担者（本共同研究課題 関係分）：山岡 克式、馬場 健一